

XバンドMP（マルチパラメータ）レーダをご存知ですか？

近年、神戸市の都賀川等、局地的大雨（いわゆるゲリラ豪雨）や集中豪雨による浸水被害が頻発しています。国土交通省では、このような水害に対し、適切な水防活動や河川管理に役立てるため、XバンドMPレーダを設置し、平成22年7月より試験運用を開始しました。

このXバンドMPレーダの観測では、従来のCバンドレーダではとらえることのできなかった降雨についても、詳細かつリアルタイムでの観測が可能となり、ゲリラ豪雨等による河川の水位上昇やはん濫等の危険度の予測精度が向上します。

XバンドMPレーダとCバンドレーダの比較

	Cバンドレーダ	XバンドMPレーダ
観測間隔	5分	1分
最小観測面積	1km メッシュ	250m メッシュ
観測から配信に要する時間	5～10分	1～2分

インターネットでご覧になれます！

下記URLもしくは近畿地方整備局ホームページの下記バナーより情報閲覧が可能
<http://www.river.go.jp/xbandrader/>



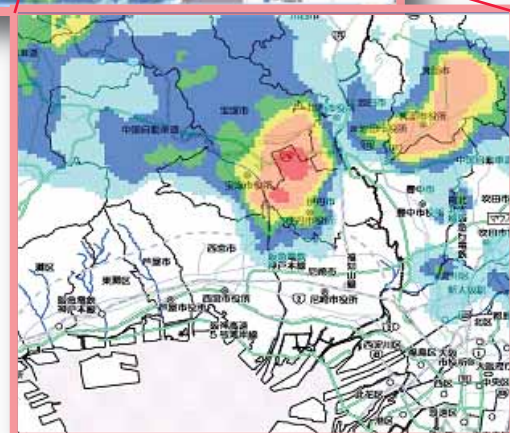
閲覧イメージ



クリックして
拡大



さらに
拡大！！

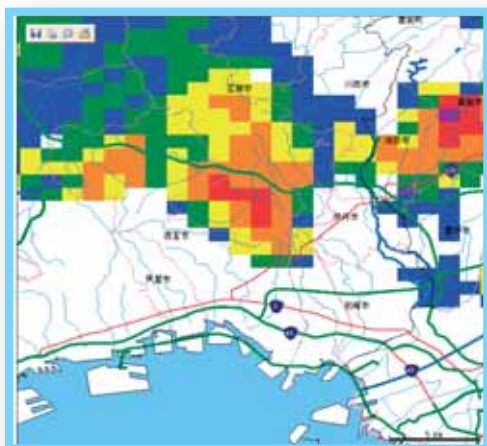


XバンドMPレーダ

注：各画面例の時刻は一致していません。



従来のCバンドレーダ2基に加え、新たに4基のXバンドMPレーダを設置して都市域の局地豪雨を観測（近畿地方整備局では4基、全国では11基）



既存レーダ（Cバンドレーダ）

高頻度
(5分→1分)
高分解能
(1km メッシュ→
250m メッシュ)

- 都市域等に高頻度、高分解能なXバンドMPレーダを導入し、局地的な大雨（いわゆるゲリラ豪雨）や集中豪雨の被害低減に向けた実況観測を強化します。
- XバンドMPレーダは従来レーダ（Cバンドレーダ）に比べ、高頻度（5分ごと→1分ごと）、高分解能（1kmメッシュ→250mメッシュ）での観測が可能です。また、これまで5～10分かかっていた配信に要する時間を1～2分に短縮しました。
- 平成22年3月末までに三大都市圏等（関東、中部、近畿、北陸）に計11基を整備し、7月上旬よりデータ提供を開始しました。

※Cバンドレーダ（定量観測半径120km）は広域的な降雨観測に適するのに対し、XバンドMPレーダの観測可能エリア（定量観測半径60km）は小さいながらも局地的な大雨にも詳細かつリアルタイムでの観測が可能です。

浸水情報システムとは?!

—豪雨時の藤田さんの日—

豪雨や洪水は氾濫により、宅地や道路が浸水することがあります。これまで、浸水箇所をリアルタイムで把握することは困難でした。

猪名川河川事務所では、浸水状況を地域で情報共有し、避難や防災活動に活用するために、「浸水情報システム」の構築を進めています。

浸水情報システムのモニターである、藤田さんの一日を見てみましょう。



16:00
藤田宅
強い雨

大分強い雨になってきたな...
ここは高台だから良いけれど、ケンサクやお父さんは帰り道大丈夫かしら?

おかあさんは、学校や駅の周辺が昔浸水したことを思い出し、少し心配になりました。

メールが来た!

お父さんにも...
「ケンサクを迎えに行きます」
送信!

登録していた、ケンサクの小学校近くで誰かが浸水の報告をしてくれたのね。
迎えにいかなければ、お隣さんにも教えてあげましょう。

警報メール設定により、登録した住所近くで浸水の報告があると、その情報が自動配信されます。

17:00
会社近く
どしゃ降り

まいったなあ、こんな大雨になるとは思わなかった!

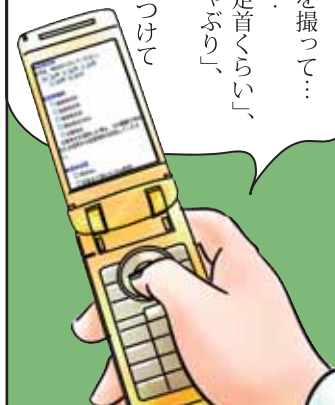
その頃、藤田さんのお父さんは会社を出て駅に向かうところでした。

お! 駅前のアンダーパスが10センチくらい浸水している! 浸水情報システムに報告しよう。



その途中、浸水している箇所を見つけ、浸水情報システムに報告することにしました。

まずは写真を撮って...
報告内容は:
浸水深は「足首くらい」、
雨は「どしゃぶり」、
コメントは、
「通行に気をつけてください」。
報告!



浸水情報システムは、このように皆さんからの浸水や雨についての報告を蓄積して機能します。

妻からメールが:
ケンサクを迎えに行くのか
そうだ!
浸水情報システムで、家の近所で浸水が発生していないか確認してみよう。



携帯電話で浸水情報システムのサイトにアクセスすると、地域の浸水状況を確認できます。



浸水が報告された地点は、地図上に浸水深に応じた「色」で表示されます。

「浸水情報システム」は、浸水状況を地域で情報共有し、水害時の避難や防災活動に活用していただくための道具です。猪名川河川事務所では、平成23年度からの運用を目指して、情報提供者、利用者となるみなさんに使いやすいと言ってもらえるシステムづくりを進めています。

この一貫として、平成21年から2ヶ年に渡りシステムの実証実験を行い、平成22年には、豊中市、川西市、伊丹市、尼崎市、池田市にお住まいの方々を中心に、約70名にご協力いただきました(モニター登録は約270名)。今後、実験結果、皆様から頂いた貴重な意見を参考に、システムの改善を進めてまいります。

↓こちらのアドレスから、平成21年度の実験結果概要がご覧になれます。
<http://www.kkr.mlit.go.jp/inagawa/>



18:00
藤田宅
強い雨

ケンサクを迎えに行ってくれたんだね。ご苦労さん。

ええ、浸水情報システムで学校の近くで浸水があるらしいと解ったの。早めに行動できて良かったわ。



藤田さん一家は全員無事に家に着きました。

17:30
学校
どしゃ降り

凄いいね。さあ、早くお家に帰りましょう。でも、浸水箇所を除けるので、いつもより少し時間が掛かるわよ。



おかあさんはケンサク君を学校まで迎えに行き、浸水箇所を避けて、家路に着きました。

猪名川の近くには、汚れた水をきれいにしたり、まちが浸水しないように雨水を処理する施設があります。今回はその中から見学ができる施設をご紹介します。それぞれの施設の重要な役割を学ぶことができます。

見学内容 ビデオやスライドなどで概要説明
活性汚泥微生物を顕微鏡で観察
処理場内の現場案内

見学日時 平日（祝日、年末年始 12/29～1/3 を除く）
9:30～16:00（都合により日時の変更あり）

申し込み方法 池田市下水道処理場へ直接電話又はお問い合わせ
メールフォーム <https://www.city.ikeda.osaka.jp/cgi-bin/form/mail.cgi?id=053> から申し込み

受付日時：平日 9:00～17:00

交通 阪急「池田」駅東のりばよりAルートもしくは、6系統のバスに乗り「神田」下車後、南へ徒歩8分
もしくは、JR「北伊丹」駅より徒歩15分

問い合わせ先 池田市上下水道部 下水処理場
〒563-0044 池田市ダイハツ町3番1号
TEL 072-751-8577

見学内容 三つのゾーンに別れた見学施設で、下水道の概要や、汚れた水をきれいにするためのしくみ、それぞれの施設のあらましなどを紹介したり、処理場の働きをビデオや本などの資料で勉強することができます。

見学日時 平日（年末年始 12/29～1/3 を除く）
9:00～16:00

申し込み方法 複数人で構成された1グループより受け付けます。
事前の申し込みが必要です。

問い合わせ先 猪名川流域下水道事務所 TEL 06-6841-1100

交通 阪急・JR「伊丹」駅6番のりばより伊丹市バス岩屋循環
クリーンスポーツランド前行きで「クリーンスポーツランド前」
下車後、東へ徒歩5分 もしくは阪急宝塚線「曽根駅」よりエコラボ
bus クリーンスポーツランド前経由で「原田下水処理場前」下車すぐ
猪名川流域下水道原田処理場
〒561-0806 豊中市原田西町1番1号
TEL 06-6841-1100



池田市下水処理場



猪名川流域下水道原田処理場

尼崎市栗山中継ポンプ場



尼崎市北部浄化センター



見学内容 1階ポンプ室では、毎日24時間家庭から排出される汚水を次のポンプ場や処理場へ圧送するための汚水ポンプや雨水を河川に排水するための雨水ポンプを見学でき、2階中央操作室では、運転の様子がすぐに分かる操作室が見学できます。

見学日時 平日（年末年始 12/29～1/3 を除く）
8:45～17:30

申し込み方法 施設担当へ2週間前までに連絡
（1回につき20人まで）

問い合わせ先 下水道室 施設担当 TEL 06-6427-5740

交通 阪急神戸線「塚口」駅から尼崎市バス13番「阪神尼崎」行き
もしくは阪神電車「尼崎」駅（北）から尼崎市バス13番「阪急塚口」
行き乗車 いずれも「南塚口町7丁目」下車すぐ

尼崎市都市整備局 下水道室 栗山中継ポンプ場
〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目21番11号
TEL 06-6427-5740 FAX 06-6429-7439

見学内容 ビデオ上映（小学生向けの下水道の紹介ビデオ）、
北部浄化センターの紹介、水が浄化されるしくみについての説明
処理場内の現場案内、パンフレットの配布、質疑応答など

見学日時 土・日曜日、祝祭日、年末年始を除く
9:00～16:00

申し込み方法 2週間前までに電話連絡
見学希望日については急な変更などがありますのでご了承ください。
見学当日に降雨量が多い場合は中止になります。

問い合わせ先 下水道室 TEL 06-6499-4515

交通 阪急神戸線「園田」駅（南）から尼崎市バス21-2番・
23番「戸ノ内」行き もしくはJR神戸線「尼崎」駅（南）から
尼崎市バス23番「戸ノ内」行き乗車 いずれも「戸ノ内町2丁目」
下車 北東へ徒歩約10分

尼崎市都市整備局 下水道室 北部浄化センター
〒661-0953 兵庫県尼崎市東園田町7丁目82番地
TEL 06-6499-4515 FAX 06-6493-5650

病気を治す石

(川西市)

東久代地区には「病気を治す石」として伝えられる岩が残っています。

江戸時代に市域の南端付近で疫病が流行し、人々が苦しんでいました。

久代新田村（現在の東久代地区）を通り掛かったお坊さんが、気の毒に思い、数日間祈り続けると疫病は無事収まりました。

お坊さんが旅立つとき、村人が「形見」が欲しいと頼むと、お坊さんは猪名川から石を一つ持ってきて「悪い病気に罹ったときは、この石に3回触って祈れば治ります」と言い残して立ち去ったのです。

現在、この石は東久代1丁目の東久代春日会館近くに残っています。高さ85cm、下部の幅56cm。正面には「青面金剛」の文字が刻まれています。

艶のある滑らかな石は、多くの人が祈りながら触ったことを物語っているようです。

(川西市ホームページより)



今も残る
病気を治す石



いながわ歳時記

◆第18回高山真菜まつり

高山地区で300年の伝統を持つ、真菜（アブラナ科の野菜）の黄色い花が満開となる時期に、真菜摘みを実施。（参加費1000円おみやげなし）特産品や餅、新鮮野菜の即売なども行われます。

日時／平成23年3月27日（日）10:30～14:30（受付は12時まで 雨天決行）

場所／右近の郷（高山コミュニティセンター・旧高山小学校）周辺

アクセス／千里中央から阪急バス「北摂霊園事務所前」下車し、9:43発の無料シャトルバスで会場へ

駐車場あり
お問合せ先／豊能町役場農林商工課 TEL 072-739-3424（平日）
<http://www.town.toyono.osaka.jp/www/contents/1297323366352/files/1.pdf>

◆第16回護摩の市

瀧安寺で行われる大護摩供にあわせて開催しています。市内外から陶器、苔玉、竹炭、知恵の輪、和雑貨など他ではなかなか手に入らないこだわりの手作り品が並ぶ青空市です。10時30分ごろには山伏大行列が会場を練り歩きます。

日時／平成23年4月15日（金）（7月7日、11月7日も開催）10:00～16:00（雨天中止）

場所／瀧安寺前広場

アクセス／阪急箕面線「石橋駅」から「箕面駅」下車徒歩15分
お問合せ先／実行委員会事務局 箕面 FM まちそで株式会社
TEL 072-724-5151
FAX 072-721-1788

◆第47回川西市源氏まつり

源満仲公を祀る多田神社で、源氏ゆかりの武将や姫君に扮したあでやかな模古行列が巡行します。

日時／平成23年4月17日（日）
場所／多田神社周辺
アクセス／JR宝塚線「川西池田駅」から能勢電鉄「多田駅」下車
お問合せ先／川西市役所商工・観光課 TEL 072-740-1161

◆第10回宝塚オープン

ガーデンフェスタ

宝塚市内にある住宅や会社などが自慢の庭を公開。きれいに手入れされた庭を見ながら散策を楽しみ、ガーデニング愛好家同士の交流を図ります。

日時／平成23年4月22日（金）～27日（水）10:00～16:00

場所／宝塚市内随所
※市役所や市内の阪急各駅にあるガイドマップをご覧ください。
アクセス／阪急宝塚線「山本駅」下車ほか
お問合せ先／あいあいパークオープンガーデン係
TEL 0797-89-5933

◆牡丹と芍薬祭り

宝塚と苗や花のやりとりをしてきた各地からの里帰りをはじめ、約100種2000株の牡丹が開く時期に長谷牡丹園を開園。

日時／平成23年4月中旬開園予定 9:00～17:00
（受付は16時半まで）

※開園日時は牡丹・芍薬の開花状況によって変更する場合があります。

入園料／300円（予定）
場所／長谷牡丹園
アクセス／JR福知山線「武田尾駅」から阪急田園バス「長谷公民館前」下車 徒歩7分
駐車場には余裕がありません。ご来園は公共交通機関をご利用ください。

お問合せ先／宝塚市役所農政課
TEL 0797-77-2036（直通）
開園期間中は、長谷牡丹園
TEL 0797-91-1616
<http://www.nagatani-btn.com/>

総合治水推進週間

出水期前のこの1週間は、総合治水対策の役割や大切さを考える期間で、猪名川流域でもパネル展などが催されます。川をはん濫させないようさまざまな治水・防災対策が行われていますから、ぜひ関心を持ち、身近でできることに取り組んで下さい。

期間

5月15日(日)～21日(土)

編集後記

水害に備えたり、被害を出さない為の対策、活動、新しい設備の紹介など、今年もこの機関誌でお知らせすることができました。今後も猪名川についての様々なことを皆さまにお伝えしていけたらと思います。

この冊子は再生紙を使用しています。